

An Illustrated Orthodox Faith

正教信仰圖解

Fr. John Takahashi

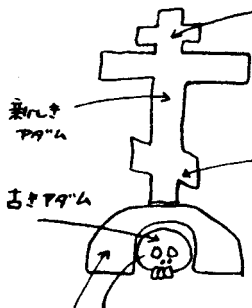
正教信仰図解は、伝道会の手引書として作成されました。意味の把握を目的としていますので、用語の統一はしていません。教会によっては、すこし説明内容が違うところもあります。基本の理解をこころがけてください。正教の信仰を多くの方と分かち合うために作られました。

この手引書は、最初1974年に謄写版刷り発行されました。その後、77年には、伝道会と青年会の有志協力でオフセットで1000部再版されました。1979年に再び1000部刷りました。その後にも再版が続いて、今回は六版目になります。

イラスト図解編集責任
イオアン高橋 神父

正教会の十字架

一番上の横は、
キリストが十字架にかけた
腕、ここに架けられた罪状を
示す。



空を意味する。
右にかけたおいてるのは、
キリストの十字架が善と悪を計り、
罪人をおとす人におとす
天と地であることを示す。

この中で、
簡単にしたものは、

この中で、
よく見かけられる

キリストが十字架にかけた血は、
「新しいアダム」と意味した。
これからは、罪で死ぬようになった
古いアダム、十字架上のキリストは、無罪で
おとす人をおとす人とした新しいアダム。

これは十字架を輪め
とする要諦を意味し、
正教会が「聖なる」
ことであることを示す。



これは、
「キリスト」のギリシア語名を
用いて十字架と合したもので、
 $X + P + \text{十} = \text{✠}$

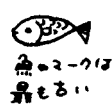


十字架をめぐり
キリストの名前だ。

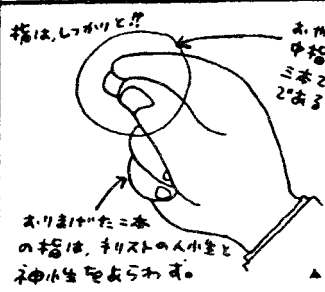
おとす人おとす人の十字架の形は、ひとつだけではない。

✠ ✠ ✠ ✠ ✠ ✠ ✠ といろいろある。

✠ キリスト教の信仰を示すためにいろいろのマークがある。



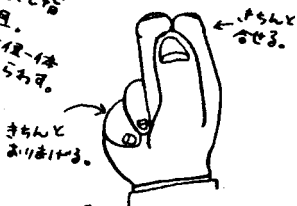
十字架の祝福の仕方



指は、しかりと!

おれ指となごし指
中指と一糸目。
三本が神の三位一体
であることをあらわす。

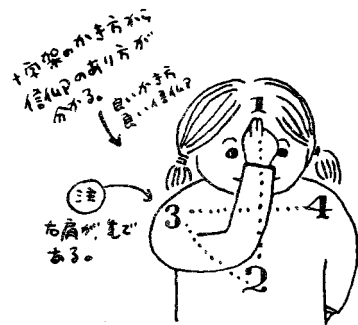
おれ指は二本の
指は、キリストの十字架と
神小生をあらわす。



きちんと
合せる。

きちんと
おれ指する。

▲(1)(1)加減の目は



十字架の十字が
信託のありか
を示す。目にかざす
は、目にかざす

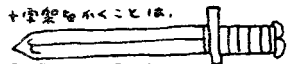
(注)

右肩がむ
ある。

左肩は最後

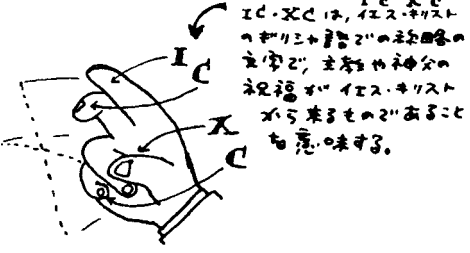
- 1 頭のかざりから始める。
頭で悪いことを思わないよう
"父と"と唱える。
- 2 胸にもつくる。
心で悪いことを思わない
ように、"子と"と唱える。
- 3 右肩にもつくる。
(カトリックは両肩)
天の父の右に居るはキリスト
右の手に悪いことをしなばう。
"聖神"の御名によりと唱える。
- 4 左肩にもつくる。
左手で悪いことをしなばう、
"アメン"と唱える。

十字架は、きちんとおれ指す。
おれ指のあたりか、おれ指のしるしは
おれ指のしるし。



十字架をかくことは、

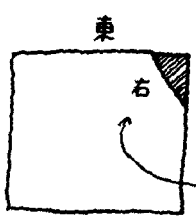
悪魔を切ること。
十字架をきれいに切ることは、
おれ指のしるしを切る。
悪魔を切る!!



ICXCは、イエス・キリスト
の御名。ICXCの御名は、
十字架の御名。主なる神の
祝福がイエス・キリスト
から来るおれ指のしるし
を意味する。

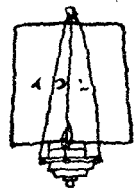
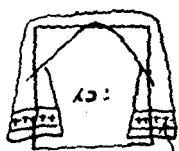
主なる神から
祝福をもらう日は
必ず、両手を合わせ、おれ指のしるしに出す。
祝福の御名を唱え、おれ指のしるしを切る。
キリストの御名は、おれ指のしるしを切る。
"アメン"と唱える。

イコノの合点



イコノでは、イコノを飾るイコノを
「集める」といいます。
どの部屋にも、必ず「イコノ」の
イコノはあるようにしたいものです。

普通は、東側(入って右側)
にイコノを置きます。金庫や
七層台は、あまり必要は
ありません。



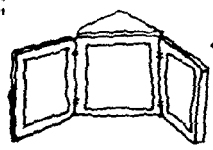
イコノに
ほこりは、祭りを
いっしょに、手紙に
していただきます。



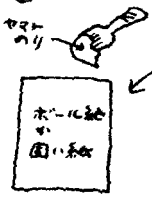
しんじゆのしんじゆ
をかける。お
まの「お」をい
いませぬ。

とるべきイコノ

- ① 聖イース・キリスト
- ② 聖セオリア
- ③ 守護聖人と聖徒イコノ
- ④ 聖ハンス・レイモン
聖ヤコブ・サイ・聖イリア
聖ニコライ、聖クリストボロス



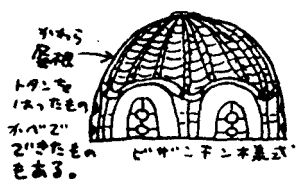
旅行の日に
持ち運ぶイコノ
のように作られたもの



イコノの
おまの「お」
をいませぬ!!

イコノ
おまの「お」
をいませぬ!!

イコノに
④のイコノをいませぬ!!



これは
 屋根
 トラスを
 1本の柱を
 不用で
 2"の柱を
 色ある。

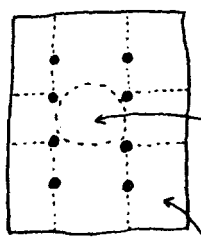
ロシア正教の
 木造正統派



オニオン・ドーム
 とはロマンチック

火の玉を
 想 起する
 教会にある
 聖書のの像をか
 色ある。

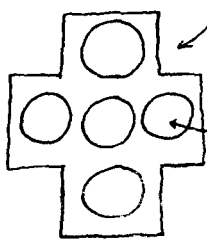
ロシア正統派



1"の柱を
 屋根の真中
 トラスを
 置かぬように
 したのが
 始まりと
 色ある。

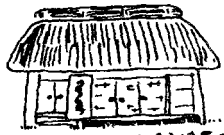


木造の
 屋根に
 は、この
 ような
 柱が
 入る。

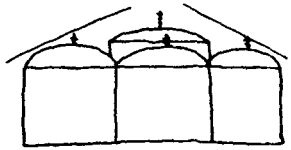


木が、切
 取られ
 十字架
 とする

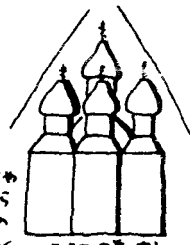
後に1"の
 柱が
 増える
 いくつ
 だけか
 かわら
 ない
 まま
 色ある。



日本には、
 多くの
 正統派の
 教会堂
 がある。
 (ある)



ロシア正教の
 木造正統派



両方とも
 土造の
 2"の柱
 を入れた
 屋根の
 構造を
 色ある。

ロシア正統派

十字架の建物は、18世紀
末に作られたものである。

(東)

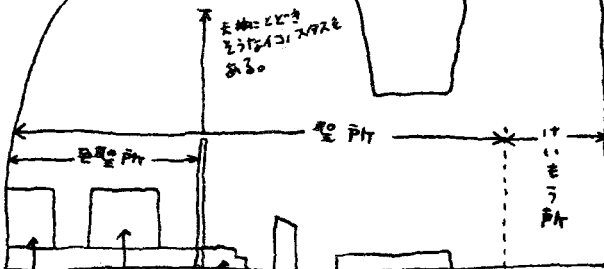
東は、日の出の方向である。
東に向うことは、
神聖なことを意味する。

天幕の形をした
ドーム

西は、日が沈む方向で
死を意味する。
教会に入ることは、
天国に行く。

(西)

教会に入るとどうなるか



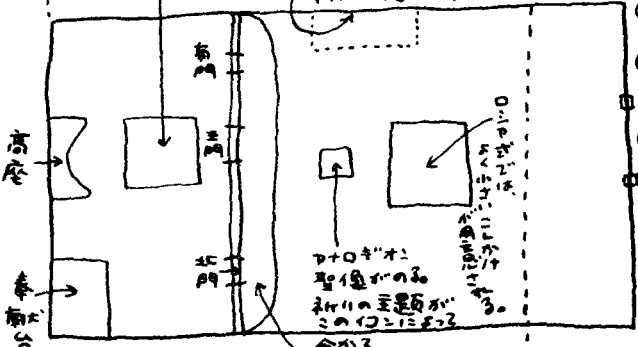
祭壇

祭壇
聖堂の中で最も
重要なところ

プロトコル
イコスタ
(イコノカヤ)

主祭壇
主祭壇がない
ところにはない。

プロトコルは
右側に建てられる。
イコスタの祭壇が裏にある。



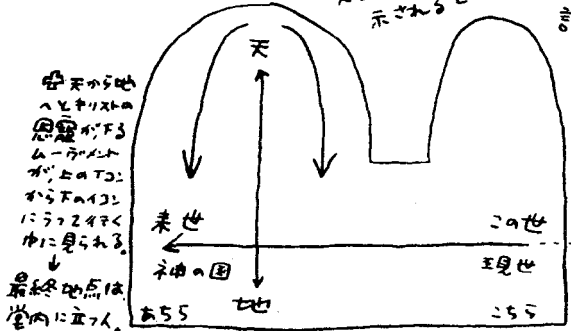
プロトコル
聖像の飾り
祭壇の裏面に
このイコスタが
合する。

注 教会の建物は、

- 1. 祭壇の聖堂、
と叫ぶ音が
15分ほどに区別
すると
- ① 会堂 (Chapel)
- ② 教会堂 (Church)
- ③ 聖堂 (Cathedral)
- 3種ある。
- ④ は、祭壇の
礼儀の所である。
- ⑤ は、祭壇の
礼儀の所、祭壇
がある。
- ⑥ 主祭壇のある
ところ、祭壇
がある。

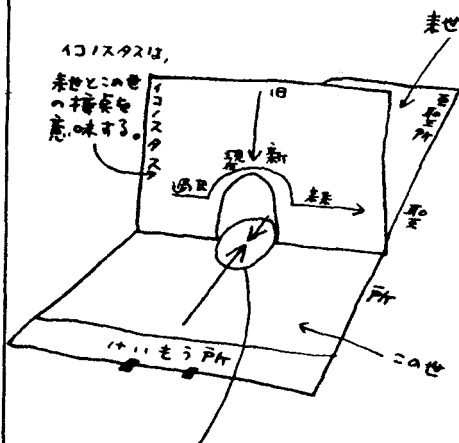
※ 上記は、建物の一式であるが、
大きい教会では、ひとつの建物の中に、
こうしたセクトが、三つあったりすることもある。
人々の多い教会に多い。本能的なところから、
プロトコルには、祭壇の、意図が
いろいろある。祭壇祭壇の立位置、
祭壇祭壇と祭壇とよい。

聖堂の中は、
十字架の上に立つ
人生の模範が
示されると。
日々の生活の
模範も、
心の模範も
言ってもよい。



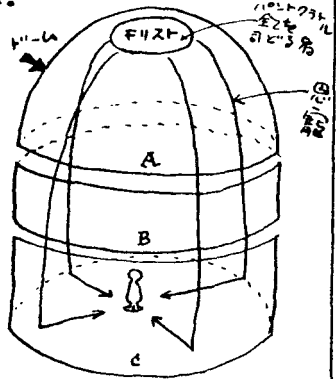
空から地
へと十字架の
恩恵が下る
ムラサキが、
その下から
下へ行く
中に見られる。
最終地点は
堂内に入る。

この世から神の国に向う
ムラサキが、堂内の十字架
から下へ下る。十字架を頂く
ことは、神の国である。



十字架は、
来世とこの世の
橋を意味する。

来世とこの世が、
十字架で交わりを
持つ。神の国とこの世、
神と人との
出会いを交わりを
示す。

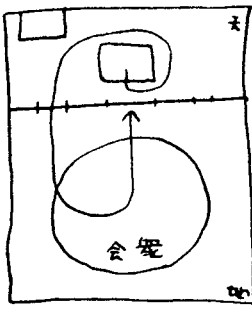


この十字架の世界を
示すムラサキの
中心

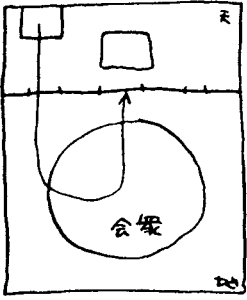
A の中心は、天の十字架の
中心を十字架の中心とした
十字架

B キリストの十字架の
中心

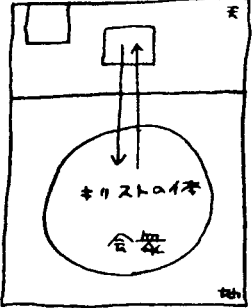
C 諸聖人



小聖入
 1012年のころとあるが、
 聖人「聖入」といふ。聖人は、この世と
 来世の両方を明かすに
 来る世の「大聖」である。
 「小聖入」は、福音書が、
 こころの操出にわた
 行なわれる行なり、
 天から来申言葉であるキリスト
 が、地に來り、人々天に上
 ったことである。

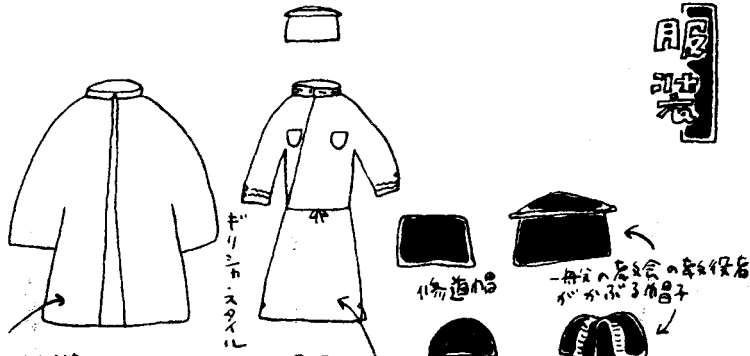


大聖入
 「大聖入」は、聖体礼儀の
 中に行なわれる。
 ハンニルという酒を腐らさ
 儀である。こちらからある方の
 腐らした物である人肉を、
 ハンニルという酒である。



領聖
 領聖には、ふたつの
 一ツクとある。
 こころからある。
 本心からある。
 キリストが、来たことあるが、
 こころ「ハンニル」酒を
 いたた「こころ」具現される。

月夜
正統



ラリもしくは
リヤサと呼ばはれ上座

ギリシカ
スタイル

修道士服

一般の教会の身代保を
かたぶつ角帽子



ロシア
スタイル

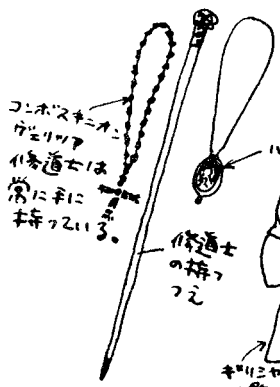
カトリック

ロシアの
総主教長
だけが着用



六つの羽を挿す
天使の冠

上部が
まろいもの
は聖の冠



ロシア
スタイル
修道士は
常に手に
持つている。

ロシア
スタイル
修道士は
常に手に
持つている。

修道士
の持つ
つえ



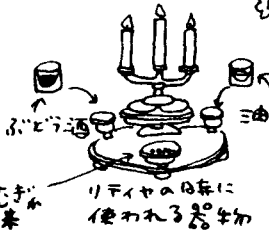
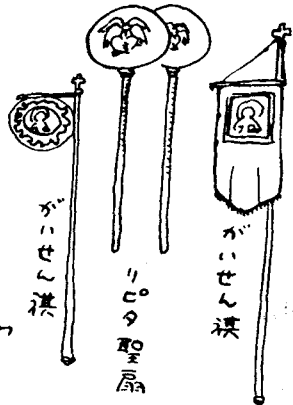
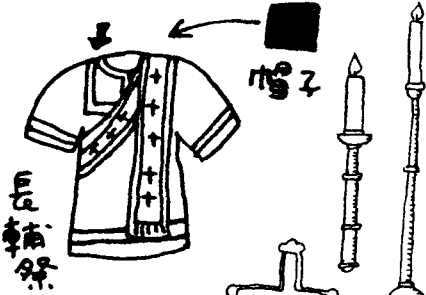
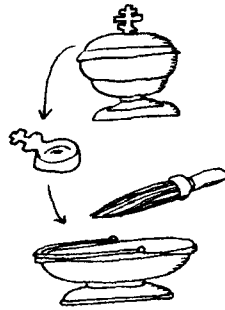
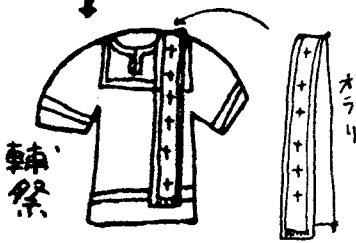
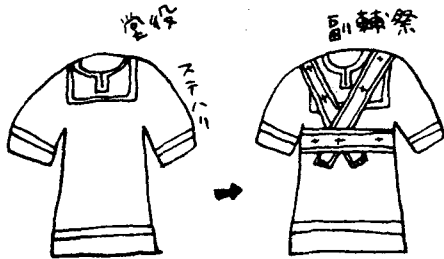
ギリシカ
スタイル
修道士服
ロシア
スタイル



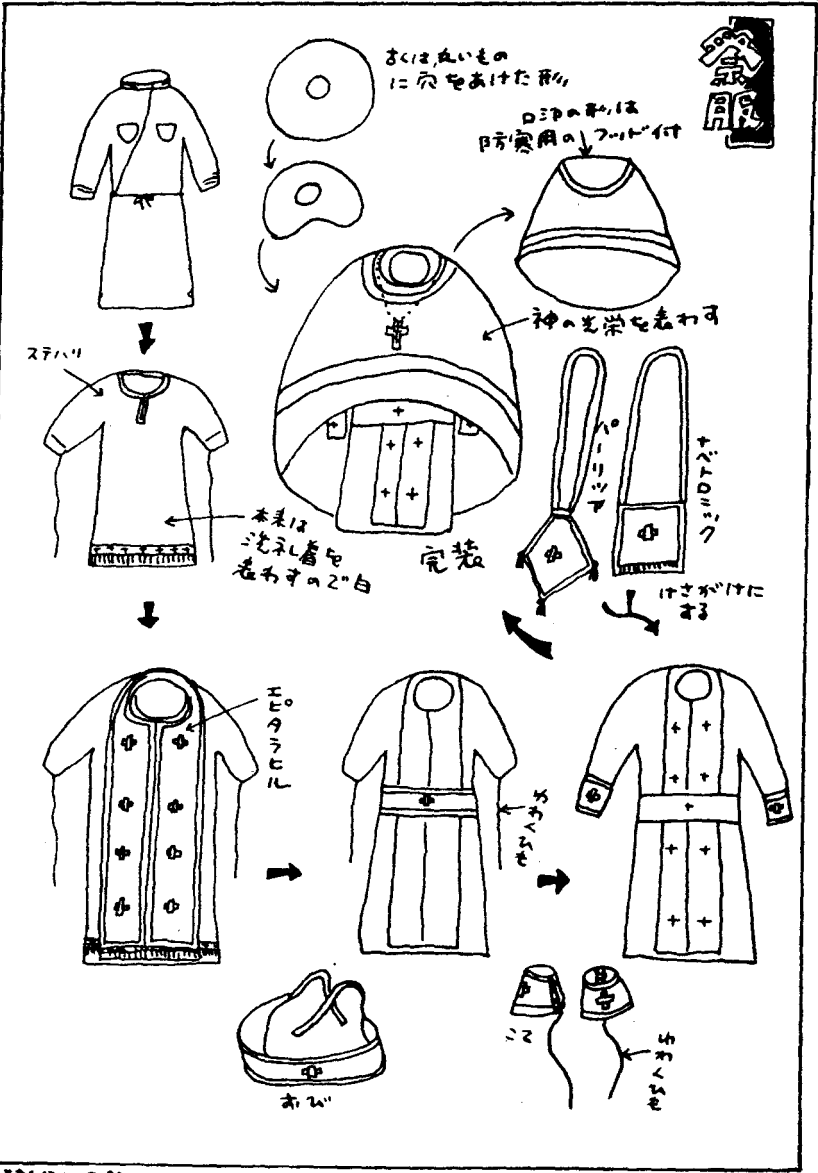
白い色は
府主教長

たし
くくはあり
袋のよう
なつて
いる

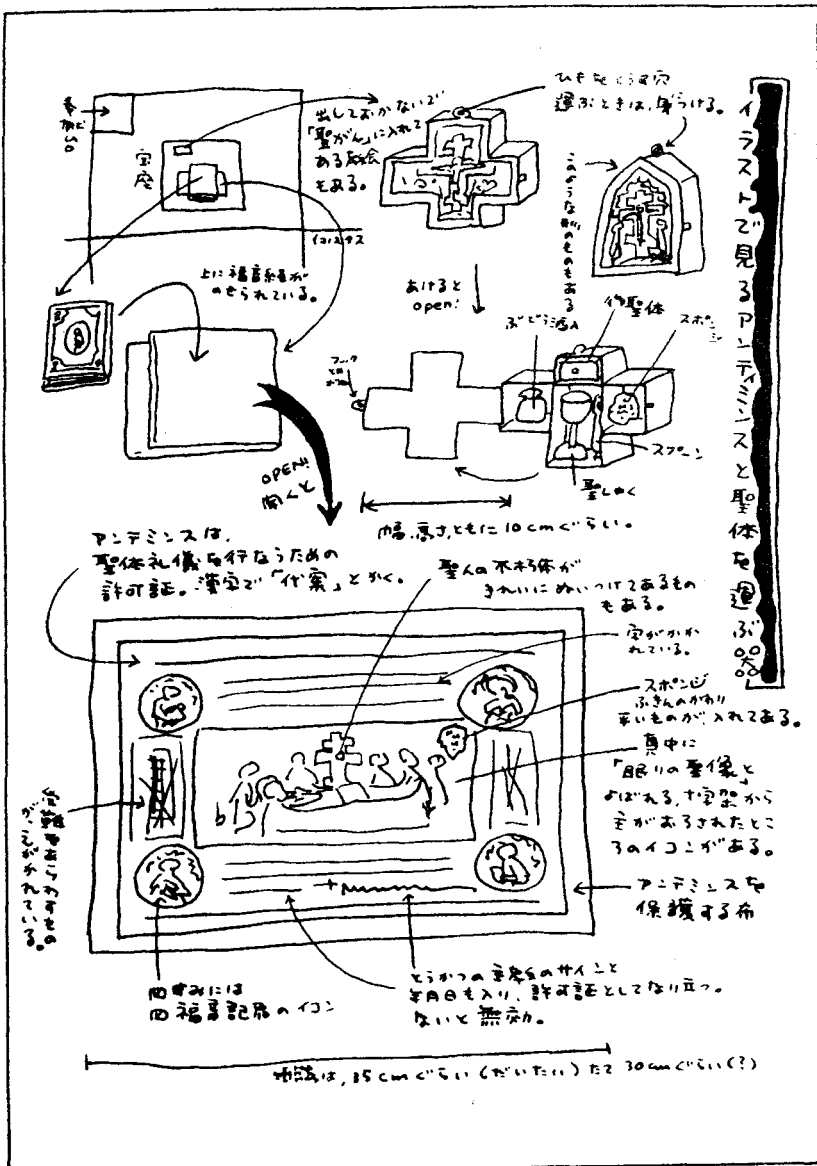
祭服



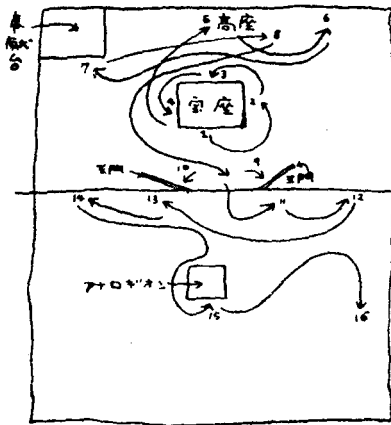
聖入内行列の時に使われるもの。



日教社出版 図解 - An Illustrated, Orthodox Faith - J.R. Publishing House, 1925. Rev. John Kibukaki



イラストで見ると、トピックと聖体石の図

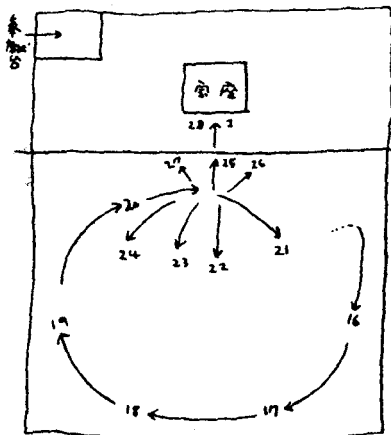


全堂口中圖 1.
(前半)

宗にあり、聖なること
了すに當りては、

- ① 聖なる、何れか
は、此の如く、
宗にあり、聖なること
了すに當りては、
- ② イコに、此の如く、
は、此の如く、
宗にあり、聖なること
了すに當りては、

全堂口中圖 1.
(前)



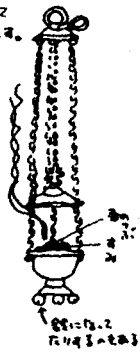
全堂口中圖 2.
(後半)

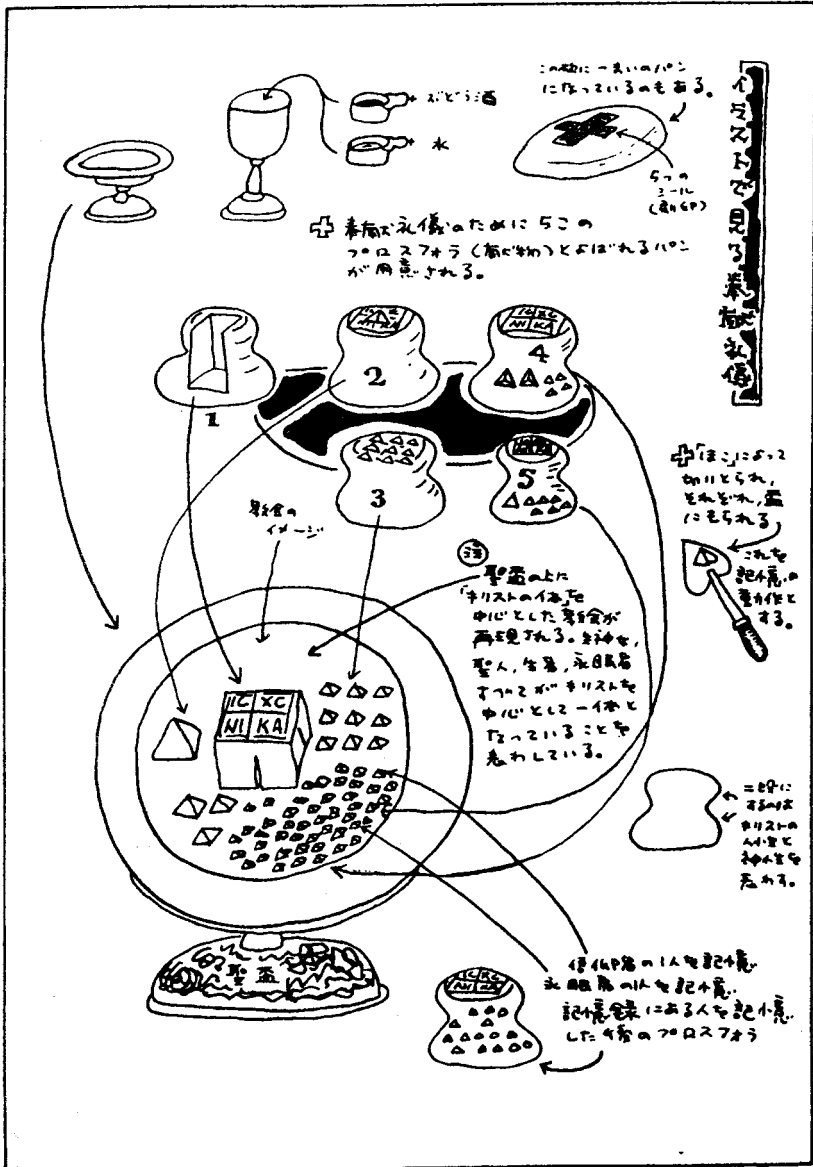
③ 聖なる、何れか
は、此の如く、
宗にあり、聖なること
了すに當りては、

④ 聖なる、何れか
は、此の如く、
宗にあり、聖なること
了すに當りては、

圖注

- 15. 聖なる、何れか
は、此の如く、
- 16. 聖なる、何れか
は、此の如く、
- 21. 聖なる、何れか
は、此の如く、
- 22. 聖なる、何れか
は、此の如く、
- 23. 聖なる、何れか
は、此の如く、
- 24. 聖なる、何れか
は、此の如く、

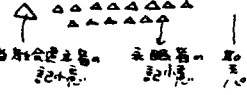
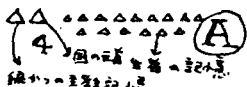
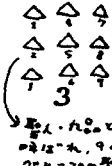
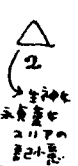




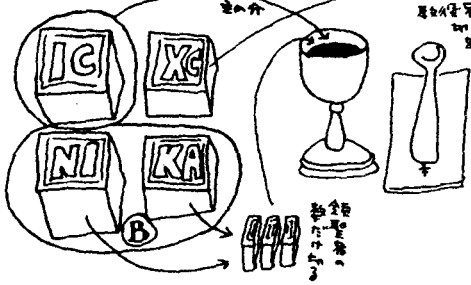
IC・XC・NI・KA = イエス・キリスト・神・聖霊と読む。
 (イコノスタシヤ) = . . . 祭壇



イエス・キリストの記念

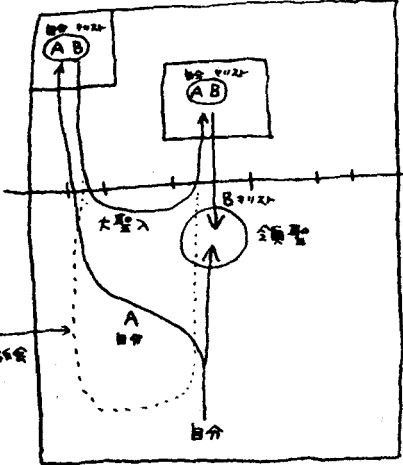


重要な部分



神聖のために備わっている。

イコノスタシヤの神聖祭壇と祭壇

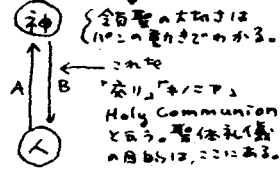


祭壇のコースをとりかえなさい。

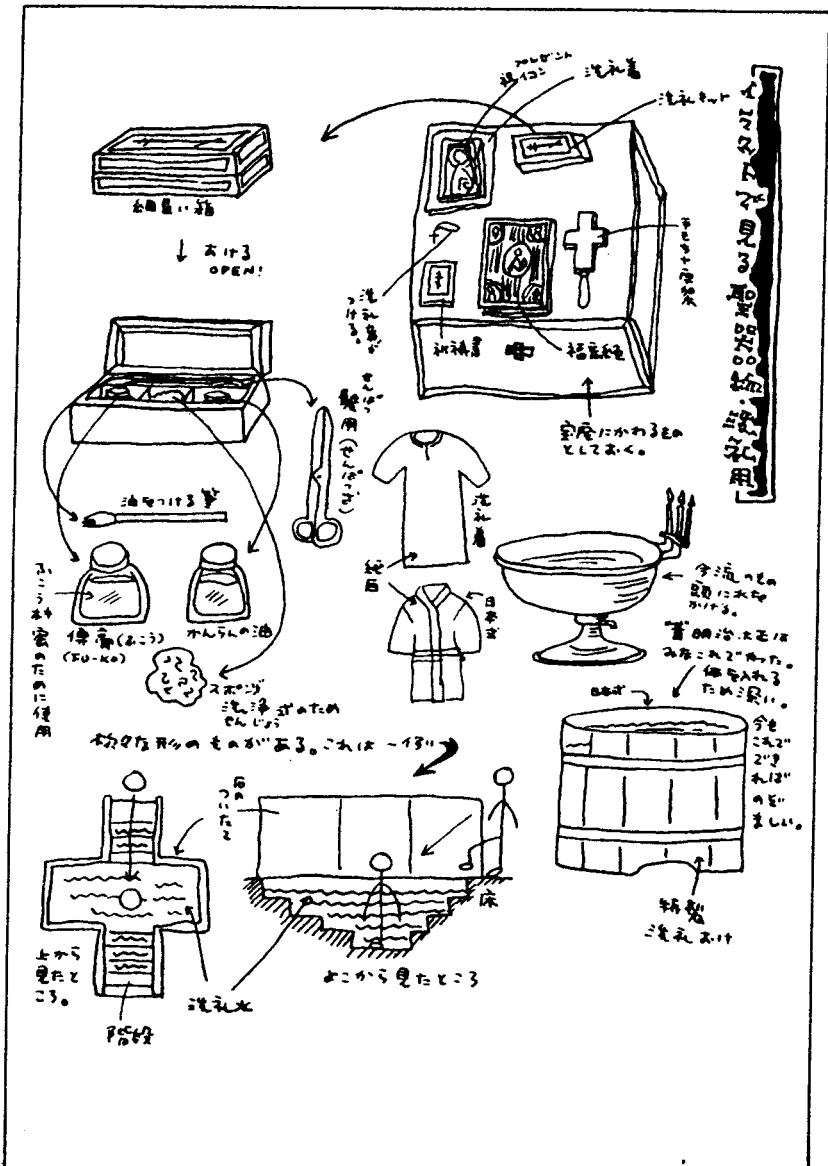
{ A = 自分 (上の 4)
 { B = イエス・キリストの御霊の体 (上の 1)

A = 見られたる力は 信化の聖なる力。奉獻の 2 B (キリスト) と一致して、B を 祭壇の通し 2 である。

神に A (自分) をあげ、B (祭壇) をささぐらうことに注意。

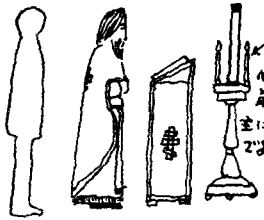


{ 祭壇の力は 信化の聖なる力。奉獻の 2 B (キリスト) と一致して、B を 祭壇の通し 2 である。
 ↓
 これを
 「祭壇」キリストの
 Holy Communion
 とする。聖体礼儀
 の目的は、ここにあり。



痛小梅

痛小梅を学べる前に
3つをくわえておこう。



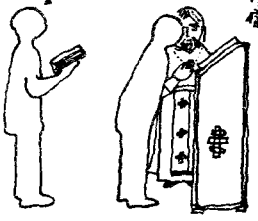
痛小梅は
他々主の聖徳の
賜であつた。
主は痛小梅を
下さる。

水 信仰の源
教会の教
水 信仰の源



聖書
の
教
育

毎一21日
聖書を
読み
まわす



信仰の上のために
痛小梅を心からする。

水 けうかくは
子銀風のため
根をまじはす
宮殿のためになる。

痛小梅は
信仰を強
めたくて
宮殿を
除く。



人生の途上
にあふれる
けうかく



神を
祀る
こと
を
まはす

痛小梅は
神に
おまかせ
まします。

主は心に成置した
神にまはせられた
信仰の木
永遠の心に
力強く木根を
はらっています。



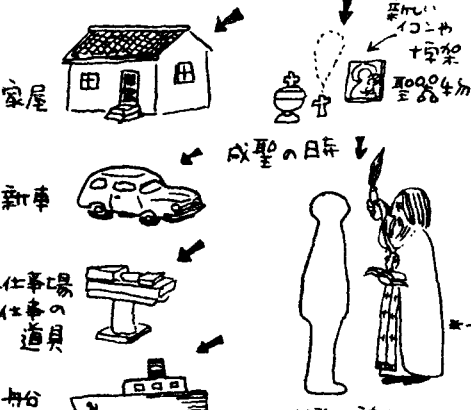
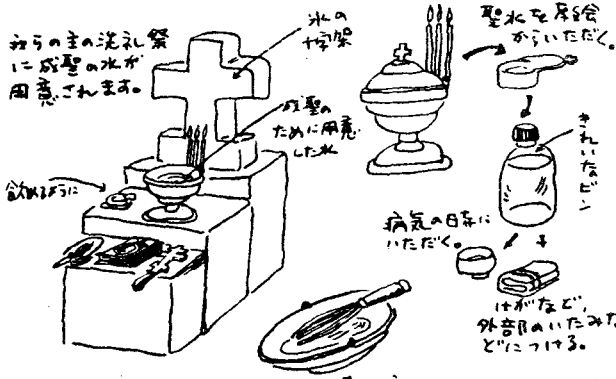
終りに神を
祀ることを
祈るに
まはす

信仰向上の本
「くはらたは、天は返つたり」

痛小梅 全聖

全聖はかたがた
しますが、全聖前には
かたがた痛小梅
まはす。

成聖の儀

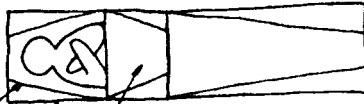
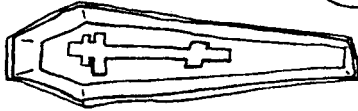
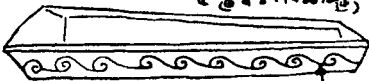


主の洗礼祭にふつ
 この世の成聖が
 始まる。
 成聖にふつ主の
 福音がもたらされ、
 新しい生活が、
 古き生活が清めら
 れ生み出される。
 どのようなものにも
 成聖の力がもたらさ
 れるべき。

あらゆる教会に
 感謝祈禱を
 しよう。

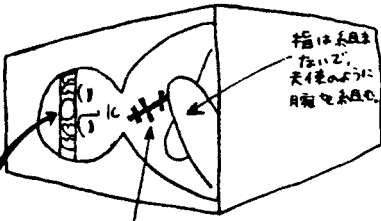
埋葬式、葬世の位處

西
よみがえった日に導くように安置する(神品は透)



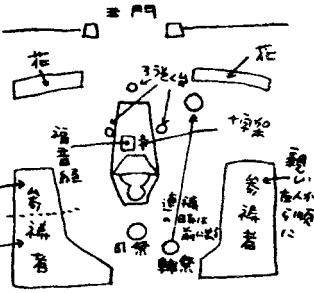
棺物で
棺物で
胸のヒコから永眠者に
会えるように飾けるようにする。

正教会では
舟形の本宮
流の「サ」イ
ニした外側の
サ「イ」に「サ」は、
赤い色の白い花が
ある。十字架は二
ある。本宮を飾る
かけをかけること
は、
本本宮を舟形に
するの、永眠者が
この世の荒波を
こえて、
至の彼岸へたの
港に入ることを示す。



指は添
ないで、
大徳のよ
に胸を添

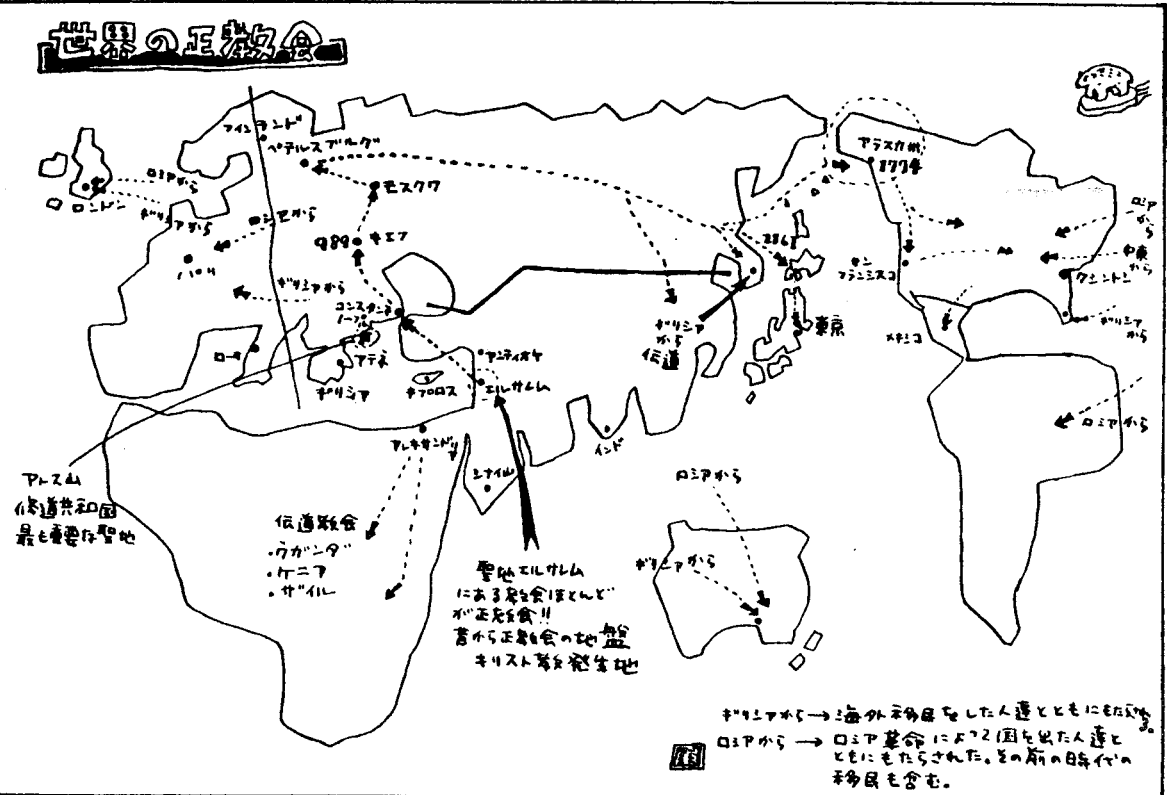
正教会では
お別れの日に
宗廟のまこと3に
接吻をしあける。
本宮の上の聖書
十字架に接吻。



- ① 聖徒は一帯に左側の前列に立つてよい。
右側の前列から順に親しい者が立つてよい。
- ② 聖書の読み上げや左人の言葉などは、神父の説教の後、別れの接吻の後である。
- ③ 正教会では、この聖書をあわせて別れの接吻をする。
- ④ 本宮を出る日は足部分から出す。
- ⑤ 本通夜の祈りの後、永眠者の枕元で「聖書を聖父聖子聖霊に捧げ、知人が喜ぶまで。

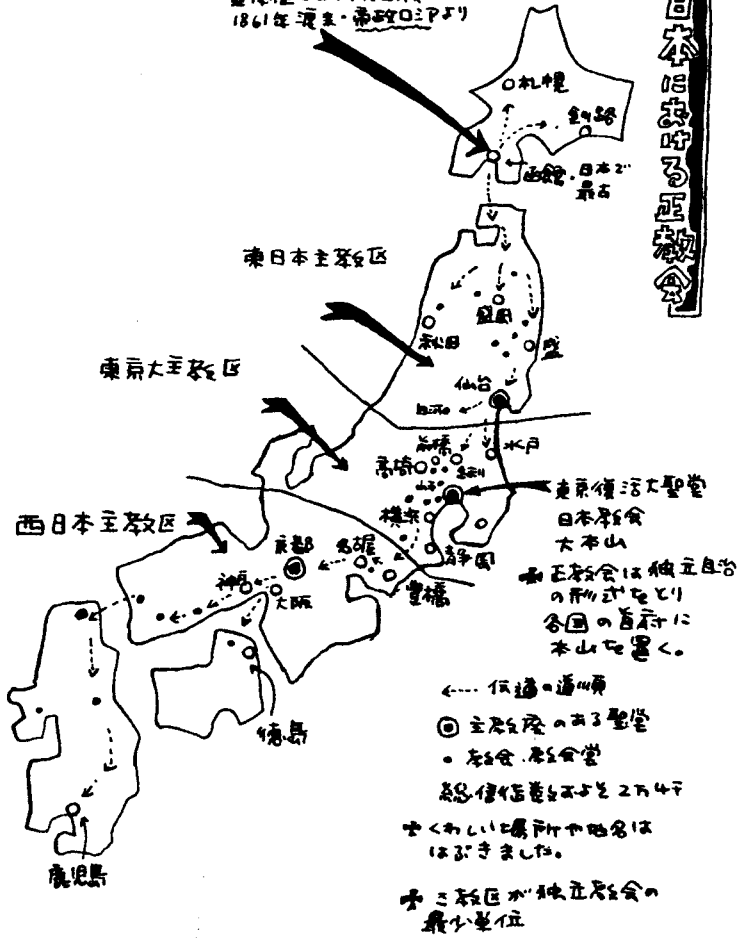
世界の正教会

2014年10月1日現在 - An Illustration of Orthodox Faith, J.N. Paulding, Hunter, 1983. From: John Paulding



日本に於ける正教会

西暦1854年ニシテ大正天皇
1861年 渡来・帝政ロシアより



復活祭を中心とした
一年の暦

